



チャンプ本 : 『イマジン?』

ビブリオバトル決勝を「①読書に対する興味・関心を高め、読書に親しむ態度を育成する。②読みたい本を相手に対して紹介する際に話し方や話の構成を工夫することで表現力を養う。③互いの発表を聞き合い、質疑応答することで思考を深め、対話を通して深い学びへつなげる。」をねらいとして、9月28日(月)に実施しました。

準決勝を経て選抜された7名は、自分の推薦する本の魅力について表現力豊かに紹介しました。

また、全校生が発表者の紹介を真剣に聞き、質問をしたり感想を発表したりと紹介された本についての理解を深めました。

その後、興味が湧き読みたくなった本に投票、最後に学校司書の横山先生から講評をいただきました。

開票の結果、最優秀賞に齋須撞真さん(3年2組)、優秀賞に岡部結菜さん(2年1組)が選ばれました。

子供たちには、読書に親しむ習慣を身につけてほしいと考えています。ご協力をお願いいたします。



〈最優秀賞：齋須 撞真さん〉



〈優秀賞：岡部 結菜さん〉



〈本に関するディスカッション〉

ビブリオバトル決勝 発表者

【 氏 名 】 【 本の題名 】

根本京之介さん (2年2組)	「大谷翔平「二刀流」の軌跡(ルーツ)」
渡邊 梓さん (3年2組)	「青の数学」
近藤 功歩さん (3年2組)	「逢う日、花咲く」
齋須 撞真さん (3年2組)	「イマジン?」
穂積 陽奈さん (3年1組)	「余命10年」
國井 杏菜さん (3年1組)	「海に願いを風に祈りをそして君に誓いを」
岡部 結菜さん (2年1組)	「時給300円の死神」



〈投票「どの本が一番・・・」〉

【 ビブリオバトルとは 】

表郷中学校だより「ポプラ」第16号[7月31日(金)]より詳しく説明いたします。

どこでも手軽に楽しめる書評ゲームです。2007年、京都大学大学院の大学院生だった谷口忠大さん(現立命館大学理工学部教授)が、輪読会で読む本は自分たちで決めようと考えました。「人を通して本を知る、本を通して人を知る」のキャッチフレーズの通り、思いがけない本に出会うことができると同時に、参加者についても知ることができます。

必要なものは、本、5分のプレゼン時間と2、3分の質疑応答時間を測る時計だけ。ルールは次の4つ。

- ① 発表参加者が読んで面白いと思った本を持ち寄ります。
- ② 順番に一人5分間で本を紹介します。
- ③ それぞれの発表の後、参加者全員で本に関するディスカッションを2～3分行います。
- ④ 全員の発表終了後、「どの本が一番読みたくなったか?」を基準とした投票を参加者全員(一人1票)で行い、最も多くの票を集めた本がチャンプ本となります。